毎日を笑顔で過ごせるように願いを込めて……

2026年12月号

竹村石材新聞


(19) 南 2026年（令和8年）11月5日（木曜日） 北

石川南

復旧した十五重の石塔
＝小松市天神町の小松天満宮

震災で損壊の石塔復旧

小松天満宮 切り絵御朱印を授与

きょうから

小松市天神町の小松天満宮で4日、能登半島地震で上部3層が壊れた市指定文化財「十五重の石塔」の復旧竣工奉告式が営まれた。同神社は加賀藩3代藩主前田利常が創建し、石塔は藩御用達とされる坪野石（現在の金沢市坪野町で産出した石）でできている。復旧を祝って5日から、同社では初となる切り絵の御朱印を授与する。

石塔は宝珠と15層の部材、八角形の露盤、四角形の台石からなる。市と県の補助を受け、割れた部分の復元に加えて、全体に劣化を防ぐ撥水剤を塗布した。修復の過程で、創建当初は石塔の向きが現在とは違っていた可能性があることも分かった。

北島能房宮司は「無事に復旧できてうれしい。郷土の未来を見守る塔として伝えていきたい」と話した。

早いもので、今年も残り少なくなってまいりました。令和6年の能登半島地震は、能登方面ばかりではなく、小松市など加賀方面にまで被害が及びました。小松天満宮にある「十五重の石塔」は市の指定文化財で、高さが約7.3mあります。上部三層が倒壊した塔の復旧工事は大変な時間と労力がかかりました。この度、無事に納めることができ、復興竣工奉告式が行われました。（画像は11/5付北國新聞の記事より）



さて、今年も一年間たいへんお世話になりました。

皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp

知っていますか？ 12月の記念日

●12月1日は「一万円札発行の日」です

1958年（昭和33年）のこの日、表面に聖徳太子が描かれた最高額紙幣の一万円札が日本銀行から発行されました。インフレと高度経済成長で高額紙幣が必要となったことが背景にあり、前年には五千円札も発行。1984年（昭和59年）に福沢諭吉の肖像が描かれたものが、2024年（令和6年）には渋沢栄一の肖像が描かれた一万円札が発行されました。



■発行者 ：竹村石材株式会社
脇 田 大 （わきだ まさる）

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。


竹村公伸


脇田 大


竹村元成

竹村石材株式会社
TEL：076-241-0325
石川県金沢市寺町５－２－３８

※仏事クイズの答え：③　※まちがいさがしの答え：1)12月のフォント　2)壁に貼る板の高さ　3)馬のお箸の角度

～お墓・仏事のミニ知識～

お釈迦様誕生の地「ルンビニー」



仏教では、お釈迦様の生涯の中で最も重要とされる4つの場所があり、そのひとつが生誕の地「ルンビニー」です。お釈迦様は今から約2500年前、北インドのシャカ族の王子として生まれました。母親であるマーヤー夫人がルンビニーの花園で休んでいたときに生まれたとされていて、その時9匹の竜が天から清浄の水を注いだといいます。さらに、生まれてすぐに立ち上がって7歩歩き、右手で天を、左手で地を指して「天上天下唯我独尊」と言ったとも伝えられています。ルンビニーは現在はネパール南部タライ平原にある小さな村で、1896年にはマーヤー・デーヴィー寺院などの遺跡が発掘され、世界遺産に登録されています。

仏事クイズ Q&A

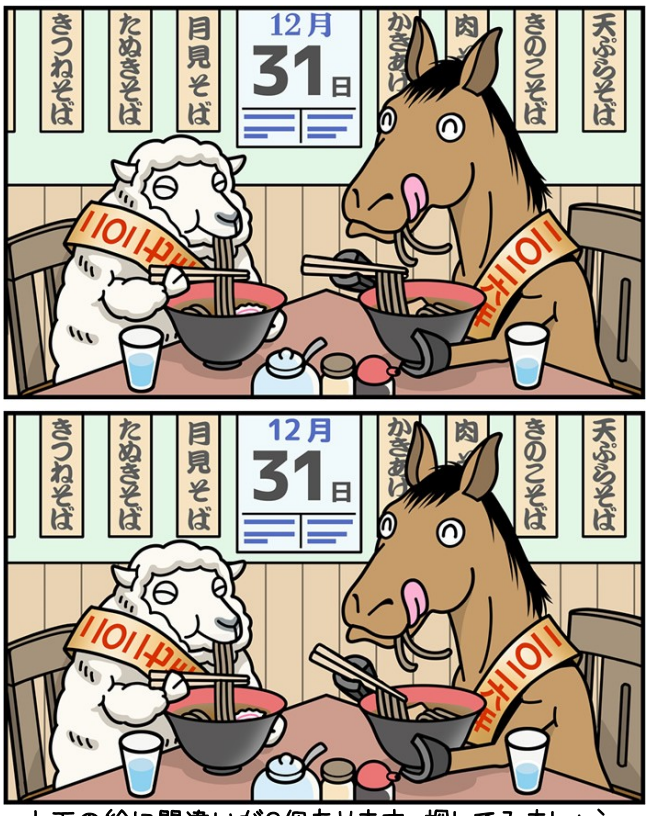
知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q 奈良法隆寺にある「食堂」は、平安時代に入って僧が食事をする場所として使われるようになりました。この「食堂」の読み方は次のうちどれでしょう？

① しょくつき
② しょくどう
③ じきどう

ヒント 一般的な読み方ではなく、仏教や寺院での読み方（呉音読み）です。

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。